

2006年(平成18年)8月



玉御冠、左上は冠側面のX線写真

琉球王国を最も象徴する国宝が、
「玉御冠」です。
玉御冠は、「皮弁冠」とも呼ばれます。琉球王が即位する際に、朝貢・冊封関係にある中国皇帝から臣下の証として、「皮弁服」と呼ばれる唐衣裳などとともに与えられました。

沖縄では、「ヒーヒヤクウツン（皮弁冠）」や「タマンチャーピイ（玉御冠）」と呼ばれていました。冠の金筋の数は、中国側でランク付けされ、明朝の頃は琉球には郡王クラスの七筋の冠が与えられていました。ところが、国王の肖像画である御後絵の記録からすると、十四代尚穆王（一七五二～一七九四）の頃から、十二筋に変わったことがわかります。冠や衣裳は、皇帝の使者として冊封使の一行が御冠船と呼ばれる船で運んでいました。戦災を免れた現存する唯一の王冠

琉球王国を象徴する国宝「玉御冠」～戦災を免れた現存する唯一の王冠～

運んでいました。一行は、半年から

1年滞在し、その間七回の宴席が設けられ、最高級の料理や芸能もてなされました。

写真の「玉御冠」は、戦災を免れた現存する唯一の王冠です。表面は黒縞で被われ、十二筋の金糸の上

が彫られています。

X線の調査で、冠は六角形の金属

から二八八個の宝石を鉛で留めています。金の簪は、四本爪の龍と瑞雲

が彫られています。

運んでいました。戦災を免れた現存する唯一の王冠

は、伊勢助役や桃原教育長と会話を楽しみながら、琉球漆器に盛られた黒米ごはんやイナムドゥチ、ゴーヤーの和え物などを、残さずきれいにたべていました。

県産品奨励月間の一環として、県産の野菜やくだものを使った学校給食試食会が6月30日、伊藝美智子助役や桃原致上教育長らを招いて上間小学校で開かれました。試食会は、学校給食を通して県産食材のおいしさや大切さを理解してもらうことを目的に毎年行われています。子どもたちは、伊藝助役や桃原教育長と会話を楽しみながら、琉球漆器に盛られた黒米ごはんやイナムドゥチ、ゴーヤーの和え物などを、残さずきれいにたべていました。



県産食材、おいしくてサイコ～！

県産品で学校給食試食会



売り子も商品もイキがいいよ～

寄宮中学校職場体験

新都心地区に誕生した新しいコミュニティバス「新都心循環線」の出発式が7月1日、新都心公園で行われました。運行するバスは、小学生が応募した絵がペイントされた1台を含む小型バス3台で、赤・黄・緑の色鮮やかな車体には、草花や生き物がユニークに描かれています。見た目にも楽そで、新都心の街並みにもよく映えるコミュニティバスの料金は、大人100円で、15分～30分間隔で運行しています。



笑顔と走る100円バス 新都心コミュニティバス出発式



国と沖縄県では、那覇空港の今後の整備のあり方について調査、検討を進めています。それらの結果について、みなさんからのご意見を広く募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください、県交通政策課までお問い合わせ下さい。

配付窓口

県交通政策課

県行政情報センター（県庁、宮古支庁、八重山支庁、北部合同庁舎）
那覇空港、モノレール各駅

ホームページ

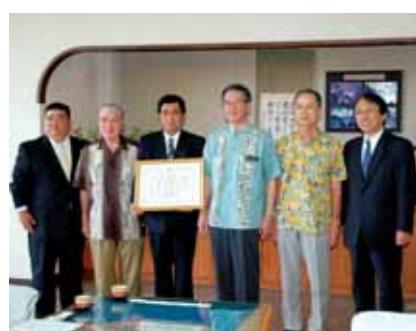
yahoo!で「那覇空港の総合的な調査」と検索
<http://www.pref.okinawa.jp/nahakuukou/>

お問い合わせ

県交通政策課

TEL:098-866-2045 FAX:098-866-2448
e-mail:aa015500@pref.okinawa.jp

「交通災害共済」に家族揃って加入しましょう。未加入の世帯はお早めに申込みください。市民活動課 862-9955



時計塔設置や植樹など公園行政へ貢献
那覇東ロータリークラブへ感謝状贈呈

去る5月18日に、創立40周年記念事業として牧志公園内に時計塔を寄贈した那覇東ロータリークラブに、6月28日、翁長市長から感謝状が贈呈されました。贈呈式で翁長市長が、市内の公園への植樹など、これまでの公園行政への貢献に対しお礼を述べると、同クラブの仲本清弘会長は、「ロータリークラブの理念のもと、これからもういろいろな分野で市民や社会へ貢献していきたい」と力強く抱負を語っていました。